

元気に活動をスタート

政治を道具に

佐々木ゆみこ（ネット宮前／県議）

生活課題を解決させるための制度や仕組みを考えるのは政治の大きな役割。誰かにお任せにするのではなく、現場にいる皆さんと一緒に考え、行動するのが議員の大きな役目。4年間、政治を道具に活動していきます。

教育施設とバランスのよい開発を

渡辺あつ子（ネット宮前／川崎市議）

マンション等への開発が進む宮前区では、一部小・中学校の過大規模化が深刻です。更に大規模な建設工事が進んでおり、教育施設の容量を超えた開発などバランスの悪さが目立ちます。都市計画と開発問題に取り組みます。

子育て世代を応援します

山崎さゆき（ネット大和市民会議／市議）

子育て世代を応援します。特に、孤立した子育て環境の中で悩む母親とその子どもへの影響が、行政に伝わらないジレンマを感じてきました。直接母子に接している現場の声を尊重するシステムづくりを進めます。

地域で介護を支えます

くにかね久子（ネット大和市民会議／市議）

要支援1,2の方を地域で支える体制をつくるため、大和市はアンケート調査を送付しました。6月には前段の「研究会」が発足します。ボランティア団体やNPO等と連携し、サービスがより豊かなものになるよう働きかけます。

生活者と政治の橋渡しをします

青木マキ（ネット青葉／横浜市議）

地域政党に横浜市で唯一頂いた議席を活かす、生活者と政治の橋渡しが私の役割。当事者の目線から、子育ても介護も孤立化させない仕組みづくりをめざします。また地域分散型自然エネルギーの導入を積極的に進めます。

子育て支援を進めます

小室たかえ（ネット横須賀／市議）

子ども・子育て支援新制度がスタートした今、保育・療育・子育て支援を15年行ってきた現場からの生の声を伝えることで、ニーズに寄り添う制度構築に努めます。政治参加を呼びかけ、情勢に敏感でありたいと思います。

政治への参加を広げます

はたい陽子（ネットあやせ／市議）

投票率が低かったにもかかわらず、私の周りには「初めて投票に行ってきたよ！」との複数の声がありました。子育て・介護の問題に向き合い、常に生活者の視点でみんなの声を議会に届け、政治への参加を広げます。

移動しやすいまちをつくります

土山由美子（ネット伊勢原／市議）

心と体の健康維持、活気溢れるまちづくりを進めるには、公共交通を整備し不便地域を迅速に解消することが必要です。同様に、障がい者・高齢者の外出の個別対応にも負担軽減の補助制度確立を進めます。